

決意の言葉

本日は私達、第七七回卒業生のために、このような式典を挙げていただき、誠に有難うございます。またご多忙の中を出席くださいましたご来賓の皆様、校長先生はじめ諸先生方、並びに関係者の皆様に卒業生一同 心から御礼申し上げます。

思い起こせば この二年間の学校生活で私達は学問のみならず、多くの貴重な事を見つける事ができました。

ヘアショーでは、夏から約三ヶ月間「ワールド」をテーマに各班話し合いながら進めてきました。ですが自分達七七回生は個性的な人も多く、中々うまく進める事ができませんでした。そして何度も何度も話し合いを重ねスタッフ、モデル、先生方の支えもあり、なんとか実行する事ができました。そしてここから学んだ事は、一つの目標に向かって取り組む重大さを改めて身にしめる事ができました。

そして、二年間の集大成として国家試験を迎えました
約二ヶ月間、実技と筆記の毎日、みんなの顔が死にかけていたのを思い出します。
自分事ではありますが、勉強も実技も先生方に手を焼かせた自分としては、周りの友達や気にかけていつも、いじってくる先生方の支えがなければ今、自分がここに立っている事はないと思いますし、みんなと卒業をできる事がとてもあわせて

そしてこれからは、みんなが列々の道を歩んでいきますが卒業という一つの区切りでまた新たな生活がスタートします。

まだまだ未熟未完成の私達ゆえ、卒業しても壁にぶちあたった時は、御指導御鞭撻の方よろしく願います。

私達七七回生は「人格第一、技術これに次ぐ」という言葉を忘れずに夢や目標に向かって頑張っていきたいと思います。

本日は本当にありがとうございました。
皆様のご活躍をお祈りし、御礼の言葉とさせていただきます。

平成二十九年三月十四日

第七七回生代表 浅景 翔太